

体験活動参加型（中学校）

学校名等	大垣市立西中学校
実施日時	令和4年10月22日（土）
会場	大垣市立西中学校
参加者	全校生徒と職員
学習課題（分野）	災害時の食事（命の大切さ）
運営者の願い	災害時を想定し、有志の保護者が炊き出しを行い、生徒はそれをスムーズに受け取ってその場で食べられるのかを確認したいと考えた。防災訓練と同日に実施を希望していたが、調整が間に合わなかった為、炊き出しのみ行った。

学習の内容

<準備>

- ・ 備蓄倉庫より、災害時に使う大鍋（まかない君）を準備する。
- ・ 食材の買い出しは事前に役員で行い、水や米は寄付でいただく。
- ・ 前日に食材を運び込み、洗米、野菜を洗う等の準備をする。
- ・ 事前にお手伝いいただける保護者を募ったところ18名集った。男性のお手伝いも有り助かった。
- ・ アレルギー対策や、晴天、雨天での食べる場所や動線の確保、タイムスケジュールを先生と打ち合わせる。

<当日の様子>

- ・ 8時半集合で調理スタート。1、2年生は10時半には食べ始められるようにするため、時間との戦いだった。
- ・ ご飯は、災害救助用炊飯袋を利用した。
- ・ 鍋につなぐガスコンロは業者をお願いした。
- ・ 主婦パワーはすごく、野菜のカットも、400食分あつという間に終わった。
- ・ 生徒たちもきちんと並んで食事を受け取り、混乱はなかった。



- ・ 晴天に恵まれ、外で食べる事ができた。
- ・ 生徒たちは楽しそうに食べてくれた。おかわりもして、ご飯も豚汁もきれいに無くなった。
- ・ 生徒達はゴミの回収時、「美味しかったです。ご馳走様でした」と声をかけてくれた。



<感想>

- ・ 作ったのは、たった一杯のご飯と豚汁だったが、学ぶ事は多かった。
- ・ 備蓄倉庫には、チェーンソー・リヤカー・毛布・給水袋・救急箱・発電機等が置いてあった。置いてあるものも、倉庫の場所も初めて知った。実際の災害時は、パニック状態になることが予想されるため、事前にあるものを確認できたことは、収穫だった。
- ・ 災害が来ない事を祈るが、備えは本当に大事だと実感した一日だった。
- ・ 来年は是非、防災訓練と一緒に、生徒も交えて炊き出しを行えたらと考えている。



事前にボランティアを募集したところ、PTA 役員に加え、多くのボランティア参加者が集まりました。そのおかげで、400食を作る作業がスムーズに進みました。力仕事は男性の方の協力が、とても助かりました。



力仕事は男性の方の協力が、とても助かりました。



炊き出しは大変ではありますが、実際に災害が起きた時、どこに何があるのか、誰に連絡すればいいのか、今回の体験で初めて知った事が多く、やってよかったです。